

ニュースリリース 日旅ニュース

株式会社日本旅行 広報室

〒105-8606 東京都港区新橋2-20-15
新橋駅前ビル1号館
TEL 03-3572-8180 FAX 03-3289-5466



2014年1月29日



鉄旅オブザイヤー 2013

日本旅行グループ「鉄道プロジェクト」商品が
グランプリ、審査員特別賞2点、ルーキー賞を受賞！！

(株)日本旅行(グループ)の鉄道プロジェクト(*2)の企画商品が、鉄旅オブザイヤー実行委員会が主催「第3回鉄旅オブザイヤー」(*1)で、「グランプリ」「審査員特別賞(2作品)」「ルーキー賞」を受賞しました。表彰式は、1月29日(水)埼玉県さいたま市の鉄道博物館で実施され、受賞商品5商品のうち4商品が当社グループの鉄道プロジェクトの商品となりました。

旅行スタイルの多様化などから、日本においても「鉄道旅行」のニーズが急増しております。また日本全国多くに地域に密着した鉄道があり、“鉄道を中心的な観光資源”として地域の活性化を目指している自治体も少なくありません。そして、100億円以上(野村総研2006年調べ)あるといわれる、鉄道ファンマーケットも、今後益々拡大が予想されます。

日本旅行では、鉄道好き社員で結成される、「鉄道プロジェクト」メンバーを中心に様々なニーズに対応する、鉄道旅行商品を今後も企画して、顧客ニーズの対応や地域活性化の貢献をしたいと考えています。

*1 <鉄旅オブザイヤーとは...>

旅行会社が、企画性やオリジナリティにこだわって作成した国内の優れた鉄道旅行商品に対して表彰を行い、「鉄道旅行」ならではの魅力を発信することで、鉄道旅行及び国内旅行のプロモーションに資することを目的としています。第3回目の今回は、2012年11月から2013年10月にかけて実際に販売し催行された鉄旅の中から、グランプリ 1、準グランプリ 1、審査員特別賞 2、ルーキー賞1 の計5作品を選出します。審査員は、俳優の関口知宏さんを審査委員長に鉄道について造詣のある大学教員新聞記者や鉄道ライターなど15人(1グループ含)から構成されています。本年88作品がノミネートされ、一次・二次審査を経て、受賞作品が決定されました。

●鉄旅オブザイヤーHP:

<http://www.tetsutabi-award.net/>

*2 <日本旅行鉄道プロジェクトとは...>

旅行商品はネット販売拡大などにより、価格競争オンリーとなっています。「個性のある商品企画を」との社長の命により、「社内専門家プロジェクト」が2010年に結成されました。本来業務以外で趣味を活かしたツアーを提案することを目的として、当初は、歴史やスポーツなどのツアーも企画されていましたが、鉄道だけが「鉄道プロジェクト」として活動を続けています。メンバーは10人で、各メンバーの得意分野「地方鉄道」「廃止前のさよなら運転」「アイドルと行くツアー」などすでに、50以上のツアーが実施されて日本の鉄道好きには、知られた存在です。

●鉄道プロジェクトHP:

<http://www.nta.co.jp/jr/train/>

鉄道の旅 ⇒ツアー情報を掲載

<http://www.nta.co.jp/jr/train/kishatabi/>

汽車旅広場⇒鉄道の関するコラムなど旬な情報を提供

受賞作品概要は、以下の通りです。

●詳細については、鉄旅オブザイヤー実行委員会発行の資料（添付）をご覧ください。

賞		グランプリ	
商品名	北陸本線100周年記念号の旅	出発日	10月13日、14日
受賞者	西日本営業本部 JR営業推進部 玉川 淳 西日本旅客鉄道（JR西日本）金沢支社共同企画商品		
発地	敦賀	行先	糸魚川
		販売価格	11,800円～37,800円
商品内容	2013年が北陸本線全通100周年にあたることから、これを記念し企画実施したツアー。①北陸本線の長年の歴史にふさわしい列車とするため、北陸本線沿線の方々に馴染み深い、かつて北陸本線の急行列車で活躍した475系国鉄色車両を使用し、往年の急行列車のヘッドマークを装着。②「北陸本線をクローズアップし、途中停車駅を楽しんでいただく」ことをコンセプトに、途中、北陸本線の主要駅に長時間停車し、その駅（土地）ならではのおもてなしを実施。そのおもてなしを楽しんでいただくもよし、駅のたたずまいや駅周辺の散策を楽しんでいただくもよし、北陸本線を堪能していただく旅としました。		
受賞者コメント	旅行業という業務（仕事）に携わる中で、自らが企画した商品がこのような栄えある賞をいただけたのは、大変光栄です。また幼いころから鉄道趣味人であり、「鉄道」がない生活は考えられない私の人生にとっても、大きな喜びです。		



賞	審査員特別賞			
商品名	ミッドナイト撮影会 in 銚子電鉄	出発日	9月6日～7日	
受賞者	新規事業室 鉄道プロジェクト 瀬端 浩之			
発地	現地集合・現地解散	行先	銚子	販売価格 6,000円
商品内容	<p>銚子電鉄の人気者と言えば、小さな電気機関車「デキ3」。車籍こそ無くなりましたが、今でも仲ノ町構内にシブイ音を響かせて走っています。この機関車を目的にたくさんのファンが銚子・仲ノ町を訪れ、様々な写真を撮っていますが、何か変わった撮影会は出来ないだろうか、と考えました。折しも銚子電鉄さんでも、鉄道ファンに楽しんでもらえる企画が何か出来ないか、と模索していたところ。一緒に何か考えましょう、ということで弊社鉄道プロジェクトとして持ちかけた企画が、「デキ3の夜間撮影会をやってみてはいかがですか。それも本線上で。」というものでした。車籍がないデキ3が本線を自走することは出来ませんが、線路閉鎖のうえ、電車が牽引すれば移動させることは可能ということがわかりました。しかし、日中はそんな時間がありません。ならば終電車が走り終わったあとなら……。0:00過ぎに仲ノ町を出発し、観音駅近くの開けた畑の中に停車させ、撮影会を実施しては、ということになりました。しかし、深夜の畑の中ですから真っ暗。そこで牽引した電車のヘッドライトを投光器の代わりにすることに。ここまで話しをしたところで鉄道写真家 広田 泉さんにご相談したところ、「私のほうで投光器を手配し、ライティングにも凝ってみましょう。」とご協力いただけることになりました。また、本線撮影は深夜になりますから、それまでは仲ノ町の車庫でのライトアップ撮影会とし、終電後に移動して本線撮影、そして撮影後には仲ノ町に戻り、朝まで電車の中で休憩というプランが出来ました。</p>			
受賞者コメント	審査員特別賞、ありがとうございます。小さくても頑張っている銚子電鉄さんの魅力を引き出す企画として、評価されたことを大変嬉しく思います。これからも全国で頑張る鉄道を応援出来るような企画を作ってまいります。			



賞	審査員特別賞			
商品名	広田 泉さんと訪ねる 南三陸の今	出発日	6月22日(土)～23日(日)	
受賞者	新規事業室 鉄道プロジェクト 瀬端 浩之			
発地	東京	行先	南三陸	販売価格 44,300円
商品内容	<p>東日本大震災から2年。少しずつ被災した地域で復興が進んできました。「ぜひ多くの方に訪ねて欲しい、復興しつつある三陸を見て欲しい」と声が届くようになり、各社から応援ツアーも催行されるようになりました。当社鉄道プロジェクトも、どうしたら被災した鉄道やその地元を応援出来るのか、模索してきました。そして「今現地がどうなっているのか。ネットをはじめ、テレビや新聞で様々な情報が伝えられているが、実は見えていないものがあるのではないかならば、今を見ることで、南三陸の鉄道が今どうなっているのか、自分の目で確かめてもらうことで、何をしたらいいのかも見えてくるはず。応援ツアーではなく、応援するために今の南三陸を知ってもらうツアーにしよう」という思いにたどり着きました。以下のコンセプトを決め、ツアーを具体化していきました。①内容は鉄道に特化する。②未だ復旧の目途が見えない仙石線・石巻線・気仙沼線・大船渡線といったJRの各線を訪ね、今を体感していただく。③様々な意見があるBRTについても、現地で見えていただく。④南三陸でもっとも早く復旧した岩手開発鉄道も訪ねました。</p>			
受賞者コメント	審査員特別賞、ありがとうございます。応援するために現地を見て欲しい、その思いから作った企画が評価されたこと、とても光栄に感じます。現地と向き合い、自分なりに感じていただける企画を、これからも作りたいと思っています。			



賞	ルーキー賞				
商品名	①廃線探訪 定山溪鉄道 ②廃線探訪 夕張鉄道・大夕張鉄道	出発日	① 10月19日(土) ② 10月26日(土)		
受賞者	北海道オプションルーツアーズ(日本旅行 関連会社) 永山 茂				
発地	①②とも 札幌	行先	① 札幌市定山溪 ② 夕張市	販売価格	① 7,780円 ② 6,900円
商品内容	<p>「鉄道が拓いた北海道」 開拓使以来、北海道の近代化は鉄道の存在抜きには語れません。その産業史を振り返ると多くの鉄道文化が開花した地域でありました。しかしいつしかその役割を終え、廃線となってしまった鉄道群は、今やその遺構さえも消滅の危機に瀕している状況となっています。そこで現存する「鉄道遺構」を観光資源として捉え、商品化することに挑戦したのがこの企画です。定山溪コースでは、定山溪出身で幼少時代から同鉄道を写真で記録し、ホームページで紹介をしているプロカメラマン氏を、また夕張コースでは同鉄道の保存活動を行っている団体の事務局長をコーディネーターに迎え、コース策定から綿密な調整を行い企画しました。マスコミ報道の影響もあり予約開始後すぐに満席となりました。また実施日も紅葉の季節に合致したこともあり、参加者からは絶賛のお言葉を頂戴できました。北海道はこれから降雪期を迎えるため次期企画は雪解けを待つとなりますが、「次回もぜひ参加したい」との要望が寄せられています。</p>				
受賞者コメント	<p>この度は「廃線探訪」の企画に際し、様々なご支援を頂戴しありがとうございました。北海道は開拓使以来「鉄道」が輝きを放った、その先進地域です。今でも全市町村の9割に残る鉄道遺構は「宝の山」だと考えています。これらは今後、観光資源として活用され、地域活性化に寄与して行く事になると思います。私たちは、北海道をフィールドにして、新しい旅の価値創出を行いながら、社業を通して地域社会に貢献できるよう取り組んで参ります。今後とも皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。</p>				



*添付の写真は転用可能です。JPEGが必要な場合は、ご連絡ください。
各ツアーのパンフレットやニュースリリースもあります。必要な場合は、ご連絡ください。